

平成29年(2017年)12月19日(火曜日)

# 「故郷三島の魅力伝えたい」

インドネシアのプロサッカーで活躍 松永さん

親善大使就任で意欲を語る松永祥兵さん  
(左。右は母親の法子さん＝三島市役所)



松永祥兵さんの略歴 まつなが・しょうへい 三島市の三島長伏サッカースポーツ少年団でサッカーを始めた。加藤学園暁秀中、高から国士館大に進み、在学中の08年にドイツのシャルケ04と正式契約。J2愛媛FCを経て11年にインドネシアに渡った。

三島市出身でインドネシアのプロサッカーリーグに所属する松永祥兵さん(28)が、2018年の日本インドネシア国交樹立60周年の親善大使に政府から任命された。食や自然にまつわる故郷の魅力を積極発信し、「友好の懸け橋になりたい」と意欲を見せる。

(三島支局・河村英之)

松永さんは11年から同国 川通香さんとともに任命されて渡り、人気チームのプル シブ・バンドンで主力のMF選手として活躍中。外務省から打診があり、同国で芸能活動するアイドルの仲

シーズンオフで帰国中の松永さんはこのほど、母親の法子さん(54)らと三島市役所を訪問し豊岡武士市長

## 国交樹立60周年 親善大使就任で意欲

に報告。就任の打診について「驚いたが誰にもある話ではないと思って引き受けた」と話した。

三島のお気に入りスポーツを問われると、清流で知られる源兵衛川を真っ先に挙げ、「インドネシアは衛生面でこれからの国。こんなに素晴らしい場所があることを伝えたい」。発信ツールの会員制交流サイト(SNS)「インスタグラム」は37万人のフォロワーがあり、ほとんどがインドネシア人という。

松永さんによると、インドネシア国民は親日家が多く、同僚選手からも日本の情報を頻繁に聞かれるという。県内関連の旅行先では「御殿場プレミアム・アウトレット」(御殿場市)が人気といい、「南(伊豆方面)に足が向くよう売り込みたい」と意気込んだ。一方でムスリム向けのハラール食対応を課題に挙げた。豊岡市長は「訪日客が増える中、親善大使の役割は大きい。サッカーとともに頑張る」と期待した。